

事業コード	04010218	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略				
事業名	アウトドア・アクティビティによる真木真昼魅力創生事業	施策コード	01	施策名	地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化				
部局名	生活環境部	課室名	自然保護課	指標コード	02	施策目標(指標)名	観光客のニーズに対応した受入態勢の整備と、観光人材・事業者の育成		
		班名	自然公園班	(tel)	1612	担当課長名	澤田智志	担当者名	高橋政行
評価対象事業(計画)の内容						事業年度	令和02年度 ~ 令和04年度		

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 大仙市と美郷町にまたがる「真木真昼県立自然公園」は、渓谷探勝と登山に適した山岳公園として知られているが、平成27年度の豪雨災害以降、利用者の減少傾向が続いている。この自然公園を舞台に令和元年8月、地元の人材と首都圏の民間企業が連携してトレイルランニング大会を企画・開催し、県内外から300人を超える参加者が集まったほか、同10月には、美郷町と連携協定を締結している在京企業の社員が町民と共に真昼岳に登るイベントを開催するなど、地域と民間企業との連携による自然公園活用の動きが活発化してきている。今後、自然志向や野外活動への関心の高まりを背景に来訪者の増加が見込まれるため、受入態勢等の整備を進めていく必要がある。

2. 住民ニーズの状況  
 ニーズを把握した対象  
 受益者 一般県民 (時期: R01年10月)  
 ニーズの把握の方法  
 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット  
 その他の手法 (具体的に 地元市町からの要望)  
 ニーズの具体的内容

案内人等の人材不足や受入態勢の不備が指摘されているほか、老朽化した施設の改修要望が寄せられている。

3. 事業目的(どのような状態にしたいのか)  
 自然公園の魅力や知名度を高め、民間企業とも連携しながら活用していくことによって、県内外からの来訪者の増加を図り、地域を活性化させる。

(重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望

4. 目的達成のための方法  
 事業の実施主体 県、大仙市、美郷町  
 事業の対象者・団体 自然公園利用者  
 達成のための手段  
 ・真木真昼の魅力や観光スポットを紹介する動画制作 ・登山ルートのグレーディングと情報発信  
 ・多様な遊び方を提案する「ガイドマップ」の制作

比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 県内には、世界自然遺産に登録された白神山地をはじめ、北東北3県にまたがる十和田八幡平国立公園など、数多くの自然公園が存在するが「真木真昼県立自然公園」は、県民にもその名称や位置、魅力などが十分知られておらず、地元自治体も、これまでこの自然公園を誘客のための資源として積極的に活用しようという動きが少なかった。そのため、まずはエリアの魅力や情報を発信するツール(動画、ガイドマップ)を制作し、様々な媒体を活用しながら県内外に向けてのPRを進める。

把握していない場合の理由及び今後の方針

理由

今後の方針

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	全体(最終)計画
01	アウトドア・アクティビティによる真木真昼魅力創生事業	登山ルートや観光スポットを紹介するPR動画制作及び来訪者が目的や体力に応じた遊び方を選択できるような登山ガイドマップの整備。	4,125	18,360	8,800	0	0	0	31,285
財源内訳			4,125	18,360	8,800	0	0	0	31,285
国庫補助金			2,062	9,180	4,400	0	0	0	15,642
県債			0	0	0	0	0	0	0
その他			0	1,000	0	0	0	0	1,000
一般財源			2,063	8,180	4,400	0	0	0	14,643

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 自然公園の魅力や知名度が高まり、観光客が増加することによって、地域の賑わいの創出や経済活性化などに繋がっていく。

指標	指標名	薬師連山・真木溪谷・川口溪谷への入込（入山）者数						指標の種類	
	指標式	当該自然公園への入山者や周辺エリアの観光拠点への入込者数の定点計測を行っている統計データ						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			14,198	18,198	24,198			56,594
	実績b	データ等の出典							
	東北	大仙市統計							
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月									

指標	指標名	真木真昼県立自然公園エリアへの観光入込客数						指標の種類	
	指標式	当該自然公園への入山者や周辺エリアの観光拠点への入込者数の定点計測を行っている統計データ						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
	目標a			24,171	30,971	41,171			96,313
	実績b	データ等の出典							
	東北	県観光統計							
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 08月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 これまで地元自治体でもこの自然公園を誘客のための資源として積極的に活用しようという動きはなかった。本事業によって知名度アップと関係人口の拡大を図り、地域の賑わい創出を目指そうとするものである。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 登山ガイド等案内人の不足や受入態勢の不備、施設の老朽化が指摘されているなど、住民ニーズが高く、関係市町と連携しながら、それらの改善を図る必要がある。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

自然公園の活用を通じた地域の賑わい創出と関係人口の拡大を目指すため、地方創生推進交付金を活用した県、大仙市、美郷町の連携事業として計画を策定しており、両市町との連絡調整役を担いながら、事業全体の進行を牽引する必要がある。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業      その他